

日銀の視点

6月中旬、前任を引き継ぎ、当地に着任しました。転勤前はサッカー観戦で数回訪れた以外では茨城県を訪れることも意識することもほとんどなかったのが正直なところですが、当地入りして数週間ですぐに、自然や産業、文化、歴史などの多面的な魅力と将来に向けたポテンシャルを感じ始めています。このような当県の発展に当事務所の立場から少しでも貢献できるよう取り

日銀水戸事務所長 上野 淳

縁の下から地域支える

組んでいく決意です。

今回は当事務所の主な役割について、日本銀行全体の使命とも関連付けながら改めてご紹介させていただきます。日銀（日本銀行券）を思い浮かべる方が

び金融機関を経由して日銀に戻ってきます。当事務所でも日々の金融機関とのお札の受け払いを通じ、地域における日銀券の円滑な発行と流通を図っています。災害発生時にこうした機能を維持すること

ため、通貨や金融の調節（金融政策）を行っています。こうした金融政策などの業務を適切に行うためには、金融や経済の状況を的確に把握することが重要です。当事務所でも茨城県の金融経済について

さらに当事務所は「県金融広報委員会」の事務局機能を担っています。同委員会は県内の地方公共団体や財務事務所、民間団体、金融機関の代表者などにより構成され、中立・公正な立場から皆さまの暮らしに役立つ金融知識の提供や学習支援を行っています。以上、いずれも地味ですが、地域の金融・経済活動を縁の下から支える重要な仕事と受け止めています。地域の皆さまとさまざまな形でコミュニケーションをとらせていただきながら、しっかりと役割を果たして参りたいと考えています。（次回は8月14日掲載）

多いかもしれません。日銀は、わが国唯一の「発券銀行」として、お札の発行・流通・管理を担っています。お札は日銀から金融機関を通じて世の中に送り出され、個人や企業などにより利用された後、再

も重要な役割です。また、日銀というと「金融政策」を思い浮かべる方もいるかもしれませんが、日銀は、わが国の中央銀行として物価の安定を図ることを通じて国民経済の健全な発展に資する

に報告しています。また、調査結果については月次の「茨城県金融経済概況」や、四半期ごとの「企業短期経済観測調査結果（茨城県）」などの形で地域への情報発信を積極的にを行っています。